

2017年3月理事会議事録

日 時：2017年3月25日（土）14：00～17：15

場 所：日本考古学協会事務所

出 席：谷川章雄・石川日出志・近藤英夫・大島直行・小笠原永隆・岡山真知子・小澤正人・久保田正寿・佐々木和博・佐々木憲一・佐藤宏之・篠原和夫・杉井 健・関根達人・都築恵美子・新納 泉・橋本裕行・堀内秀樹・宮本一夫・矢島國雄・長瀬 衛、監事：唐澤至朗・吉田哲夫、（事務局：林 純子・堀田菜摘子）

欠 席：岡内三眞・菊池誠一・瓦吹 堅

進 行：新納 泉

議 長：谷川章雄

新納理事から、本日の出席者は23名で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

会員の訃報について

新納理事から、鳥取県の濱 隆造会員が2017年2月9日、京都府の山田良三会員が3月12日に亡くなられたとの報告があり、哀悼の意を表した。

議案第395号 2017年度予算案について

都築理事から、本年度の支出実績を踏まえて各種委員会の予算要求の見直しを図り、2017年度予算案を作成した。2017年度予算案は、2018年度に70周年記念事業を行う予定があることを見越して予備費を増額したとの説明があった。また、宮本理事から、平成28年熊本地震に対する募金収入については、東日本大震災の際の募金に倣い、用途を明確にするため一般会計とは別立てにし特別会計として予算案を作成したとの説明があり、原案通り承認した。

議案第396号 第7回日本考古学協会賞について

関根理事から、2月16日（木）に選考委員会を開催し、応募のあった8件の審査を行い、大賞1名、奨励賞1名を選考したとの報告があり、承認した。また、『Japanese Journal of Archaeology』の刊行に伴い日本考古学協会賞規定を改正する必要があることに合わせて、現行の規定及び日本考古学協会賞の種類について意見交換を行い理事会に検討が要請されたとの説明があり、今後、審議していくこととした。

議案第397号 災害対応委員会の設置について

佐藤理事から、1月理事会からの継続審議である災害対応委員会の設置について、改めて提案があった。活動内容としては、文化遺産防災ネットワーク推進会議への継続的な参加や、阪神・淡路大震災や東日本大震災などの特別委員会活動における経験の継承、災害発生時の対応体制の整備等の検討を行う。委員会の構成案としては、東日本大震災対策特別委員会や平成28年熊本地震対策特別委員会の委員を中心に、8名程度の体制とする予定

であるとの説明があり、審議の結果、災害対応委員会の常置委員会設置を承認した。これを受けて、災害対応委員会規定（案）の提示があり、検討を行うと共に、5月の第83回総会において、本委員会の設置を報告することを確認した。

議案第398号 旅費規定について

石川副会長から、1月理事会での意見を受けて、他の学会や機関を参考に改めて見直しを行ったところ、国内旅費と国外旅費を分かつ等の再検討が必要であり、諸規則・規定等見直し検討会で整理した上で、改めて修正案を提示するとの説明があった。

議案第399号 文書管理規定（案）・情報公開内規（案）について

小笠原理事から、文書管理規定（案）及び情報公開内規（案）について、他学会を参考に再検討を行い訂正した修正案が提示され、審議の結果、基本方針については承認した。今後は、文書の保存期間など詳細についての検討や条文の確認・修正を行い整備を進めるとの説明があった。

議案第400号 事務局長の再任について

谷川会長から、1月理事会で承認された事務局長の職務及び勤務に関する規定の改正を受けて、長瀬事務局長を再任したいとの提案があり、原案通り承認した。

議案第401号 退会の承認について

久保田理事から、北海道の*会員・*会員、青森県の*会員、栃木県の*会員、埼玉県の*会員、千葉県の*会員、東京都の*会員・*会員、新潟県の*会員、静岡県の*会員、愛知県の*会員、三重県の*会員、兵庫県の*会員、広島県の*会員、福岡県の*会員の15名から2016年度をもつての退会届、山形県の*会員、山梨県の*会員、福岡県の*会員の3名からは2017年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、退会を承認した。なお、未納会費のある会員については、併せて滞納会費の納入を求めることとする。

報告第537号 第83回総会について

小澤理事から、第83回総会日程並びに理事役割分担（案）の説明があり、了承した。

報告第538号 協会設立70周年記念事業小委員会報告

矢島理事から、協会設立70周年記念事業における協会創設初期の資料収集について、会報第190号に掲載して会員に協力をお願いしたところ、会員1名から連絡があったことが報告された。続けて小澤理事から、70周年記念事業案の一覧の提示があった。①来年度は70周年記念事業に合わせて協会紹介の日本語リーフレットを作成する予定である。②近年の日本考古学及び協会の活動や現状についての総括本を刊行予定である、との説明があった。本の刊行形態については意見が出され、再度検討することとなった。

報告第539号 平成28年熊本地震対策特別委員会報告

杉井理事から、①2017年3月25日時点において平成28年熊本地震に係る被災申請は5年

間が5名、募金残額は562,346円である。②2016年10月21日に発生した鳥取県中部地震による古墳等の被災状況を視察した、との報告があった。続けて近藤副会長から、③3月16日(木)に埋蔵文化財保護対策委員会と合同で文化庁と懇談し、被災文化財の復旧と課題、支援の状況について意見交換を行ったとの補足説明があり、了承した。

報告第540号 英文機関誌編集委員会報告

宮本理事から、①『Japanese Journal of Archaeology』(以下、JJA) Vol. 4, No. 2を3月27日にサイトにアップする予定である。②佐々木理事がカナダで行われるアメリカ考古学会でJJAの広報活動を行う、との説明があり、了承した。

報告第541号 陵墓報告

新納理事から、①水路その他整備工事に伴う立会調査見学が2月2日(木)に御廟野古墳(天智天皇山科陵)で実施され、10学協会14名が参加し、当会からは新納理事が参加した。②墳塋護岸その他整備工事に伴う立会調査見学が2月16日(木)に淡輪ニサンザイ古墳(宇度墓)で実施され、13学協会17名が参加し、当会からは橋本理事が参加した。③本年度の立入り観察を2月24日(金)に実施した。対象とした陵墓は、行燈山古墳(崇神天皇陵)で、当会からは杉井理事と新納理事が参加したとの報告があり、了承した。

報告第542号 研究環境検討委員会報告

堀内理事から、2017年2月4日(土)・3月11日(土)に委員会を開催し、①2017年度の第83回総会におけるポスターセッションについては、これまで行ってきた後継者育成についてのアンケートの総括を行うこととし、内容を協議した。②埋蔵文化財調査機関や博物館等における考古学の教育・研究環境と後継者育成についてのアンケートの実施方法について再検討し、埋蔵文化財保護対策委員会に協力を求める。③理事会から検討を依頼された「認定考古士」認定制度について、所掌事項であることから対応することとした。協議にあたり、時間をかけて議論を行い、協議方法は委員会に委任することが確認され、了承した。

報告第543号 埋蔵文化財保護対策委員会報告

小笠原理事から、2017年2月及び3月幹事会議事録の提示があり、①加古川市中道子山城跡について、2月2日付で保存要望書を提出し、2月15日付で回答があった。②和泉市国史跡池上曾根遺跡における活用に伴う開発計画案において、引き続き注視していく。③北九州市城野遺跡について、土地購入者が発掘調査の行われた遺跡の一部を市に無償譲渡するとの報道があり、今後も遺跡全体の保存に関しては注視していく必要がある。④福岡県筑紫野市前畑遺跡で確認された大宰府を守る土塁遺構について、保存に関する要望書を提出する準備を進めている。⑤中国地区の情報共有を目的として、中国連絡会が発足したとの報告があり、了承した。

報告第544号 社会科・歴史教科書等検討委員会報告

佐々木和博理事から、3月5日(日)に委員会を開催し、①小学校学習指導要領案並び

に中学校学習指導要領案に対するパブリック・コメントが実施されたことを受けて、小学校及び中学校の各指導要領案について検討を行い、4点について意見を作成した。提出期限も迫っていることから、文案を総務会に諮り、一部修正の上、3月14日に意見を提出した。②第83回総会におけるポスターセッションについて協議した。③2017年度の活動について協議し、北海道や沖縄の教育内容について調査を進めることが報告され、了承した。

報告第545号 広報委員会報告

小澤理事から、3月11日（土）に委員会を開催し、主に広報マニュアルの作成について協議したとの報告があった。また、公式サイトのリニューアルについては、①現在英文ページを制作中である。②協会の公式サイト閲覧状況についての説明があり、了承した。

報告第546号 文化財に関する諸問題検討会報告

近藤副会長から、2月15日（水）に検討会を開催し、シリアの状況について、東京文化財研究所の安倍雅史氏から話を伺った。今後も、各地の事例について情報収集を行いたいとの説明があり、了承した。

報告第547号 諸規則・規定等見直し検討会報告

石川副会長から、定款の改正以降、各種規定・内規等の見直し及び制定を行ってきた。さらに整備を進めるにあたり、改めて各種規程について、階層や文言の整理を行う予定であるとの説明があった。

報告第548号 国際交流委員会報告

橋本理事から、2017年3月4日（土）に早稲田大学において、「アジアの天空」をテーマに第10回アジア考古学四学会合同講演会を開催し、約150名の参加を得たとの報告があり、了承した。

報告第549号 会費高額滞納者について

長瀬常務理事から、1月理事会において督促を要請した3万円の高額滞納者について、会費納入が確認されていない会員に対し、各理事に改めて督促を要請された。

報告第550号 事務局職員の給与について

石川副会長から、現行の協会給与体系について、国及び東京都の給与改正に伴って改定し、総務会及び財務担当理事で確認したとの報告があり、了承した。

その他

(1) 2016年度監査について

唐澤監事から、2016年度監査の実施にあたり、決算監査に合わせて、各委員会担当理事に今年度の事業報告の提出が求められた。

以上